



組合員の購読料は組合費に含まれます  
荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 阿部力  
編集責任者 宮崎浩則

No. 1658 定価 15円  
2005年  
1月5日

国労東京地本二〇〇五年旗開き  
一月七日(金) 芝弥生会館  
一一時〜 芝弥生会館  
第二六回新春団結マラソン大会  
一月十五日(土) 皇居一周・二周  
一月二日(土) 王子「北とびあ」  
一〇時〜受付 湯沢パークスキー場  
第九回囲碁・将棋大会  
一月二日(土) 王子「北とびあ」  
一〇時〜受付 湯沢パークスキー場  
第二五回スキー大会  
二月三日(水)・二四(木) 湯沢パークスキー場  
一〇時〜受付 湯沢パークスキー場

# 全ての力を組織拡大へ

## 2005年を勝利の年に



組合員・家族の皆さん新年明けましておめでとございます。地方本部執行委員会を代表し、年頭の挨拶を申し上げます。  
昨年は、異常気象による高温や台風の相次ぐ襲来、そして一〇月二三日に発生した新潟県中越地震など自然界の脅威に驚嘆させられた一年でもありました。  
厳冬の中で、懸命に復旧作業を続けておられる被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。  
私たちは、昨年八月に第七二回定期全国大会を開催し、本部が取り組んできた笹森連合会長、鉄道運輸機構、さらには藤井民主党前幹事長への要請などの到達点を確認するとともに、この流れを確固たるものとして政治解決を迫る闘いに全力をあげて確認しました。また、闘争団全国連絡会議がアンケートを基にまとめた、「JR各社の採用を含む本人希望に基づく全員の雇用確保、JR各社に採用されていたならば得た賃金相当額の支払い、JR各社に採用されていたならば継続されていた厚生年金の回復、不当労働行為に伴う不利益是正を求める争議費用及び慰謝料の支払い」を国労基本要請として確認し、その実現に向けて組織の総力を結集して闘うことも確認しました。九月から世論喚起の全国キャラバン、キャンペーン行動を取り組み、政治の責任で解決を図らなければならぬ課題とした、「一・二六JR不採用事件!今こそ解決を!」中央集会は、世論を喚起し、二六〇〇名の結集により成功裏に開催されました。全国各地で開催された集会数は三二八箇所、三万名の参加、要請箇所・団体数は二千団体となっています。また、解決を求める国土交通省宛の決議数は六四〇



### 年頭にあたって 執行委員長 阿部力

本、地方自治体の決議は、六四六自治体、九一〇本となっています。本行動で寄せられた支援・連帯・世論をさらに強化し、一日も早い解決の実現に奮闘する決意です。組合員・家族の皆さんの一層のご支援、ご協力をお願い致します。  
本年は、労務政策転換と組織強化・拡大の取り組みが極めて重要な年になると認識をしています。多数派組合を自認するJR東労組は、一昨年の浦和電車区強要事件による革マル派幹部を含む役員・活動家など七名の逮捕や、反松崎派と言われる本部役員八名の辞任劇にとどまらず、新潟・長野地本における役員専従解除と取り消しなど対立はますます激化し、職場組合員の期待に応えられる状況にありません。  
一方、昨年度の国労東京の闘いは、今後の運動に大きな展望を切り開く端緒と息吹を作り出した一年でした。一月には新橋駅昇進差別事件と指導車掌事件で、東京都労働委員会から勝利命令を勝ち取りました。また、二月には横浜人活事件の解決を勝ち取り、定年退職者を除く三名の仲間は、三月から鉄道運輸機構で働いています。九月には、配属・配転事件について東日本内二事件の一括和解を図り、ベンディング事業所の縮小・廃止が提案されています。さらに、九月二七日には、鶴見駅の解雇・不当配転事件において、懲戒解雇処分取り消し、現職復帰を、また、二名の配転者に対しても現職相当職復帰の緊急命令を含む判決を東京地裁で勝ち取り、一〇月一

日に降順次、鶴見駅に復帰しました。地方本部は、これらの闘いの成果と前進面を全組合員のものとして共有し、組織強化・拡大運動に全組織をあげて取り組み、三名の組合員を国労に迎え入れました。この組織強化・拡大運動で私たちは大きな成果を確認することができました。家族の皆様には奇異に感じることと思いますが、二名の仲間が東労組を脱退して国労に加入しても、東労組からの追及行動や暴力行為を許さなかったことです。今年度も重要な闘いの柱に組織強化・拡大運動を据え、全組合員が自信と確信を持って、この闘いを継続発展させる、その先頭に地方本部が立つことを明らかにしておきたいと思えます。  
小泉第二次改造内閣は、郵政民営化や三位一体の改革を掲げ、年金・医療などの社会保障の改悪や政府税制調査会の定率減税廃止案など国民に犠牲を強いる一方、自衛隊のイラク派兵を一年延長するなど、ブッシュ追従の戦争のできる国家造りに突き進んでいます。また、日本経団連が求めていた武器輸出三原則の緩和の決定や、自民党の憲法改正草案大綱素案公表にとどまらず、自衛隊幹部が憲法改正案を作成していたことなど、文民統制を逸脱する事態は許されるものではありません。  
また、教育基本法改悪による個人の尊厳否定や国家の支配強化、更には、日の丸・君が代の強制や処分の攻撃が強まっています。戦争のできる国づくりや、憲法改悪を許さない、そして国民的な課題の年金・医療・税制などの改悪を許さない闘いと結合して、その先頭になって奮闘することを表明し年頭の挨拶と致します。

## 春風献上

国鉄労働組合東京地方本部

- 執行委員長 阿部力
- 執行副委員長 濱中 保彦
- 書記長 笹原 助雄
- 執行委員 石上 浩一
- 執行委員 齊藤 由
- 執行委員 宮崎 浩則
- 執行委員 鈴木 勉
- 執行委員 江田 雄次
- 執行委員 山本 久
- 執行委員 海老原 悟
- 青年部長 坂本 和彦
- 青年副部長 野沢 浩司
- 婦人部長 阿部美津子
- 会計監査員 中野日出貴
- 会計監査員 大亀 孝
- 会計監査員 佐藤 正一
- 書記局 福原三江子
- 書記局 浜田 茂雄
- 書記局 新井 清一
- 書記局 小俣 勝美
- 書記局 佐藤 誠
- 書記局 福地 一郎
- 書記局 寺崎 幸子
- 書記局(中央共闘) 佐伯 肇
- 書記局(中央共闘) 井口 栄子
- 書記局(全労協) 小川美智子
- 職員 市村 和子
- 団長 小林 正
- 【国労家族会東京地連】
- 会長 青柳 清美
- 【鉄道退職者会】

# 昨年も多かった明るい話題



2月24日横浜人活弾圧事件が全面解決(清水敏正【左端】・藍和夫【右端】・岡本明男【左から3人目】の3氏が3月1日から鉄道運輸機構の職員となる。金井四郎【左から2人目】・遊佐修造【右から3人目】の2氏は復職後に定年退職)



1月28日東京都労委から、指導車掌差別(指導車掌の指定に国労を差別してはいけない) 新橋駅昇進差別(国労の受験者で、一次試験が既合格者より点数が高い者は合格)二つの救済命令が出され、その後の報告集会



7月1日甲府支部・甲府駅の新開さん【写真前列中央】の国労復帰歓迎集会



5月15日上野支部・尾久駅の池田さんが国労に復帰し、明るく職場で働く

今年をもっともっと明るい話題を提供します  
 教宣部長 宮崎浩則



9月27日鶴見駅不当労働行為事件の東京地裁判決が出る。(懲戒解雇を受けた内藤光雄さん【写真左端】と強制配転された保泉良二さん【写真中央】・島田悦夫さん【写真右端】の3氏が10月から鶴見駅で就業を始めた)